

# 耐震化・家具転倒防止

## 自宅の耐震性は大丈夫ですか？

阪神・淡路大震災の死者の9割は住宅・建物倒壊によるものでした。その後、全国的に住宅などの耐震化への取組みが進められてきました。自宅が想定震度に耐えられる十分な耐震性があるかどうかを定期的に診断し、対策を取りましょう。

## 耐震診断

昭和56年6月に建築基準法が改正され、建築物の耐震基準が強化されました。それ以前に着工された建築物は、大規模地震により倒壊する恐れがあるため、耐震診断を行い、必要に応じて建替え、耐震改修などにより耐震化を図る必要があります。

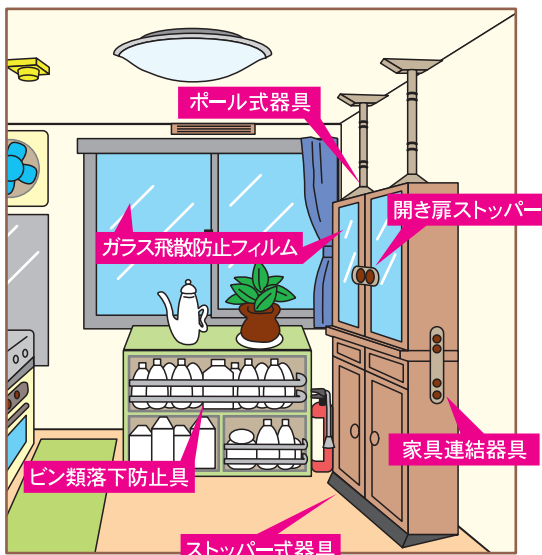
幸田町では、昭和56年5月31日以前に着工した木造伝統構法の建物は、**無料耐震診断を実施しています**。その結果、「倒壊の可能性がある」と診断された木造住宅を対象に耐震改修費の一部を補助しています。詳しくは幸田町ホームページをご覧ください。



幸田町ホームページ 耐震改修工事費の補助金

参考URL <http://www.town.kota.lg.jp/index.cfm/22,23095,241,233.html>

## 家具転倒防止



いざという時に命を守り、避難の妨げにならないように家具の配置を見直し、固定することが大切です！

- 避難路をふさがない。
- 寝室にはできるだけ家具を置かない。
- 窓やガラスに飛散防止対策をする。
- 食器棚の扉は、中身が飛び出さないように固定する。
- キャスター付家具は、移動防止措置をする。

ホームセンターなどで、  
色々な種類の固定器具も売られています！  
お家に合わせて選びましょう。

